

あぎしだより 1月号

平成27年1月5日



行事予定

| 1月 | 行 事 | 備 考 |
|-----|-------|--------|
| 6日 | 体重測定 | 午後1時より |
| 20日 | 誕生会外食 | |
| 26日 | 定期検診 | 午後1時より |

お知らせ



※ 12月25日に冬期賞与として、お一人工賃の平均2ヶ月分をお渡しいたしました。お疲れ様でした。

※ 門前高校の生徒さんよりそばがプレゼントされました。美味しく頂きました。

※ ふれあい工房あぎしのホームページをリニューアルしました。まだ発展途中ですが、充実したものとなるようにしていきたいと思っています。

ブログも始めました。ぜひご覧ください。

<http://agisijp>

ふれあい工房あぎし で検索していただいても結構です。

※ インフルエンザ・ノロウイルス・降雪の時期になりましたので、12月中旬から3月いっぱいまで作業班毎の外出を中止しています。通常の日用品の買い物等はこの限りではありませんのでご了承ください。



そばを頂きました。



クリスマス会の後に賞与をお渡ししました。



施設長 岡本 満葉

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

保護者の皆様におかれましては、清々しい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。思えば去年は4月満開の花見に始まり、ふれあい旅行では遠藤関応援に名古屋まで出かけ、同時にプロ野球を楽しんだりしました。秋の初めには地域の方々と一緒に社会体育大会を催したり、さらに施設恒例のイベントとなりました収穫祭は決していい天気ではありませんでしたが、大勢の方々にお出でいただきました。

新たな試みとして、年度の4月早々毎日行っている朝の集会で、ラジオ体操の前に体育館正面に掲げてある宮沢賢治の詩「雨ニモマケズ」を朗読することにしました。私たちの日々は喜びや楽しさばかりではなく、悲しさや時には憤りさえ交差する生活を送らなければなりません。その湧き上がるさらなる深みに、これらの悲しみ憤りを包んでいる大地のような息づかい、それは決して大きなものではなくむしろ囁きのような微かな声を聞きとっていきたいものと思い読むことを始めました。

「雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ・・・」

「決シテ ラズ イツモシズカニワラッテイル・・・」

「北ニケンカヤソショウガアレバ ツマラナイカラヤメロトイ・・・」

読み始めて半年もたった10月終わり頃、代わって読む人がいないか利用者に尋ねました。何人かの方が手を上げました。ご存知のようにこの詩はあまり使われていない漢字が多く、その上カタカナで書かれてあります。上手くいくかなと思いましたが、その日から廊下を「雨ニモマケズ、風ニモマケズ」と紙片を持ってつぶやく利用者の姿が見られました。

毎朝順にマイクを使い読んでいただきましたが、私の危惧をよそに皆さん実に上手でした。中でもこの長い詩を完全に覚えた方が2人もいたのには驚きました。「おはようございます。」と挨拶の後、後ろの壁面の詩を一度も振り返ることなく読み切りました。自然と拍手が起こりました。

“あぎし”は今年19年を迎えます。このように変化の激しい時代の中で様々な困難も山積しておりますが、運営にあたっては常に「利用者本位」を心に刻み、職員一丸となってよりよい支援を目指し取り組んでいきたいと思っています。今年も皆様一層のご理解とご協力をお願いいたします。新年のご挨拶といたします。

